

## 令和 7 年度白井市市民団体活動支援補助金中間ヒアリング結果

### 1 中間ヒアリングの概要

- ① 日 時 令和 7 年 1 0 月 2 7 日（月）午後 2 時～ 4 時
- ② 会 場 白井市役所東庁舎 3 階 会議室 3 0 2
- ③ 目 的 上半期の補助事業の進捗状況や補助金の活用状況、下半期の活動計画等を確認し、補助事業の円滑な実施及び市民団体の自立を支援する。
- ④ 内 容 (1) 補助事業の進捗状況について  
(2) 補助金等の活用状況について  
(3) 市民活動推進委員からの審査コメントへの対応について  
(4) 団体活動の活性化と自立の課題について  
(5) 令和 8 年度の展望について
- ⑤ 出席者 計 8 名  
ひだまり食堂 小豆畑代表、「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会 田中晴美代表・田中義孝事務担当、しろい de あそ部 中島事務担当  
市民活動支援課 元田課長、石田係長、栗原主任保健師、伊東主事

### 2 中間ヒアリングの結果

- ・補助事業の進捗状況、補助金等の活用状況、審査コメントへの対応状況については、3 団体ともおおむね実施できている。
- ・団体に共通する課題として、スタッフの確保が挙げられた。
- ・令和 8 年度の展望については、「ひだまり食堂」「しろい de あそ部」は定期開催イベントの開催を継続して実施すること、『「ほんとうに住みやすい白井」を本当にする会』は令和 7 年度のアンケート実施結果をもとに、白井市へ公共交通問題改善について提言を実施、また、ユニバーサルツーリズムの企画を予定している。

### 3 特記事項

#### ○参加者募集に関して

- ・参加者募集の際、3 団体ともに予約受付フォームを使用しているとのことだったが、定員管理が課題となっており、調整可能なフォーム等があれば活用したいとの意見があった。

#### ○スタッフの確保に関して

- ① しろい de あそ部の「華金！しろい de あそばナイト」での軽食提供は、人員不足のために実施できていない。

② ひだまり食堂（子ども食堂）について、ボランティア希望者は多いものの、ひだまり食堂の事業目的（居場所づくり、世代間交流）とボランティア参加希望者の参加動機（貧困に困っている子どもを助きたい）にミスマッチが生じたとの発言があった。

⇒上記2点の発言から、ボランティア参加希望者と団体とのニーズのミスマッチ解消に向けて支援を求めることが挙げられた。